

千葉県感染症発生動向調査情報

2017年 第7週 (2/13-2/19) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		7週	6週	5週	4週
小児科		18	18	18	18
眼科		5	5	5	5
インフルエンザ*		28	28	28	28
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉県					千葉県 2/6-2/12 6週
		注意報	2/13-2/19	2/6-2/12	1/30-2/5	1/23-1/29	
			7週	6週	5週	4週	
小児科	RSウイルス感染症		3 0.17	6 0.33	4 0.22	3 0.17	19 0.14
	咽頭結膜熱		2 0.11	4 0.22	2 0.11	0 0.00	21 0.16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		38 2.11	42 2.33	41 2.28	42 2.33	480 3.56
	感染性胃腸炎		126 7.00	92 5.11	88 4.89	97 5.39	594 4.40
	水痘		7 0.39	4 0.22	5 0.28	4 0.22	24 0.18
	手足口病		1 0.06	0 0.00	2 0.11	1 0.06	4 0.03
	伝染性紅斑		3 0.17	2 0.11	4 0.22	0 0.00	15 0.11
	突発性発しん		7 0.39	10 0.56	9 0.50	8 0.44	48 0.36
	百日咳		0 0.00	0 0.00	1 0.06	0 0.00	0 0.00
	ヘルパンギーナ		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01
	流行性耳下腺炎		3 0.17	4 0.22	4 0.22	1 0.06	33 0.24
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)	★○	712 25.43	690 24.64	1,052 37.57	1,213 43.32	6,848 31.85
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.03
	流行性角結膜炎		4 0.80	0 0.00	0 0.00	1 0.20	25 0.71
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	2 2.00	0 0.00	0 0.00	6 0.67
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(5件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	50歳代	画像診断等	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	70歳代	病原体の検出
結核	女性	10歳代	病原体等の検出等	侵襲性肺炎球菌感染症	女性	30歳代	病原体の検出等
結核	女性	90歳代	画像診断等	-	-	-	-

・第7週は、結核3件(32)、侵襲性肺炎球菌感染症2件(7)の報告があった。

※ ()内は2017年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第7週のコメント

<インフルエンザ>前週より増加し25.43となった。流行発生警報終息基準値を上回ったまま。過去10年の同時期と比べると多め。

■ トピック ■
 <インフルエンザ>

全国レベルの2017年第6週は、流行発生警報開始基準値(30.0/定点)を下回り、過去10年の同時期と比べると多めとなっています。流行発生警報終息基準値(10.0/定点)は上回っています。都道府県別では、高知県、福岡県、大分県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより多めとなっています。千葉市の2017年第7週は、前週より増加し25.43となりました。流行発生警報終息基準値を上回ったままで、過去10年の同時期と比べると多めとなっています。区別の発生状況は、中央区(35.2/定点)で流行発生警報開始基準値を上回り最多で、同区の10歳代前半で最も多く、一年代あたりでは4歳で最も多く発生報告がありました。この他、緑区(31.0/定点)及び稲毛区(30.8/定点)で流行発生警報開始基準値を上回り、若葉区(24.0/定点)及び美浜区(14.0/定点)で流行発生警報終息基準値を、花見川区(19.5/定点)で流行発生注意報基準値を上回ったままとなっています。今シーズンである2016年第36週から2017年第7週までの累積報告数(n=5931)によると、性別では男性が49.6%(2939名)、女性が50.4%(2992名)で、一年代当たりの年齢階級別では5歳及び7歳(共に6.1%:363名)、4歳(5.8%:343名)の順に多くなっており、20歳未満は全体の72.0%、10歳未満は全体の46.5%となっています。

※2009-2010年のパンデミックは割愛しています。

